大久保病院　PCR検査装置仕様書

1. 測定原理はリアルタイムPCR法を用いた遺伝子解析装置であること。
2. 核酸抽出から核酸増幅および検出までをひとつの機器内で全自動化していること。
3. 各モジュールが独立稼働し、ランダムに検体を検査することが可能であること。
4. 1台で4検体を同時に検査することが可能であること。
5. 簡単なアッセイワークフローであること。

・用手法行程は５分以内であること。

・測定時間は２時間以内であり、迅速に結果を報告出来ること。

・夜間等の緊急検査にも対応可能であること。

1. 検査に使用する試薬は、閉鎖型カートリッジに搭載されており、機器内におけるコンタミリスクが最小限であること。
2. 1検体毎に必要な試薬がカートリッジに内蔵されており試薬の無駄がないこと。
3. 日本語表示対応であること。
4. 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の核酸検出が可能であること。（保険点数：700点）
5. 新型コロナウイルスの検出に際しては、ウイルス輸送液から必要検体を試薬に注入後、機器にセットするのみで、簡便に60分以内に測定が可能であること。
6. 下記の検査項目が測定可能であること

・新型コロナウイルスとインフルエンザA/B、RSウイルスの同時検出（保険収載：700点）

・結核菌群とリファンピシン耐性遺伝子の同時検出　（保険収載：410点もしくは850点）

・血液培養陽性検体からのMRSAと黄色ブドウ球菌の検出と鑑別　（保険収載：450点）

・C-difficileのトキシン産生遺伝子検出 （保険収載：450点）

・淋菌・クラミジアの同時検出（保険収載：262点）

・カルバペネム耐性遺伝子（CPE）の検出

・バンコマイシン耐性遺伝子（VRE）の検出

・ノロウイルスの検出

※　当該仕様書と同等の機能を有していることが確認できた場合は、仕様条件を満たしているかの可否については総合的に判断する。

　　　　　　　　　　　　　　　以上